

作曲家・中村洋子によるアナリーゼ講座

バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」と、 この「1巻を源泉とする名曲」 (全4回)

第2回 平均律クラヴィーア曲集第1巻7番 Es-Dur

- 「プレリュード7番」は、『プレリュード』の範疇を大きく逸脱して『二重フーガ』の構造となっています。一体これは何故なのでしょう。
- 繊細にして軽やかな「フーガ7番」の応答主題の中に、バッハの平均律「序文」の真意が読み取れます。

■日 時: 2019年 7月20日(土) 14:00~18:00

■会 場: エッサム本社ビル4階 こだまホール

住所: 東京都千代田区神田須田町1-26-3 TEL: 03-3254-8787
(JR 神田駅 北口 徒歩3分) ※エッサム1、2号館ではありません

■受講料: 4,000円(税込)

■定 員: 70名

6月1日より
申し込み受付開始!



★「平均律第1巻」の1番から6番までは、バッハの「序文」に則り、一本の太い道筋をなぞるように、各曲の「プレリュード&フーガ」が粛々と進行していきました。ところが、7番に至って、劇的な展開を見せます。70小節にも上る重厚長大な「二重フーガ」の大伽藍を、何故バッハは「プレリュード」としたのでしょうか？

★その「プレリュード」に続く、本来の「フーガ」は初夏の小鳥の囀りのように、軽やかで繊細な37小節。鮮やかな逆転劇です。このフーガの変応技法(alteration)による応答主題(tonal Answer)を勉強しますと、バッハが「序文」で言いたかったことが、浮かび上がってきます。

★この「フーガ」は、底知れない嘆きに満ちた8番(プレリュード: es-Moll、フーガ: dis-Moll)を準備しているのが、刻々と伝わってきます

★私が書きました《Bärenreiter ベーレンライター版平均律1巻楽譜に添付の「前書きに対する注」》20~23ページ、33~36ページをお読み下さい。

(講師: 中村洋子より)

《申し込み・お問い合わせは》

アカデミア・ミュージック株式会社 企画部

Tel. 03-3813-6757 (日曜定休) E-mail. analyzation_lecture@academia-music.com

(お申込みの際、お名前、住所、電話番号を明記してください。)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※お申し込み後にキャンセルされた場合、キャンセル料が発生することがございます。

講師：作曲家 中村洋子

平均律クラヴィーア曲集第1巻7番 Es-Dur

・プレリュード 7番 Es-Dur

1 から 9 小節は、絶え間なく動く 16 分音符の「テーマI」、10～24 小節は、4 分音符と 2 分音符によるゆったりとした「テーマII」。25～70 小節は、このテーマI、IIによる二重フーガです。バッハならば、サラサラ流れる流麗で典型的なプレリュードを、いともたやすく作曲できたはずですが、そうはしなかったことを考え抜きますと、平均律第 1 巻がまた一段とその輝きを増します。

・フーガ 7 番 Es-Dur

軽やかで清澄、一抹のメランコリーをたたえているフーガは、この上ない和声の極上パレットでもあります。この和声をよく理解し、身につけますと、バッハがコラールを歌い、コラールを作曲し、演奏し続ける一生を送ったことが、深く納得させられます。

プロフィール

東京芸術大学作曲科卒。

・2008～15 年、「インヴェンション・アナリーゼ講座」全 15 回、「平均律クラヴィーア曲集 1、2 巻アナリーゼ講座」全 48 回を、東京で開催。

自作品「Suite Nr.1～6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第 1～6 番」、「10 Duette für 2Violoncelli チェロ二重奏のための 10 の曲集」の楽譜を、ベルリン、リース&エアラー社 (Ries & Erler Berlin) より出版。

「Regenbogen-Cellotrios 虹のチェロ三重奏曲集」、「Zehn Phantasien für Celloquartett (Band1,Nr.1-5)チェロ四重奏のための 10 のファンタジー(第 1 巻、1～5 番)」をドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。

・2014 年、自作品「Suite Nr. 1～6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第 1～6 番」の SACD を、Wolfgang Boettcher ヴォルフガング・ベッチャー演奏で発表。(disk UNION : GDRL 1001/1002)レコード芸術特選盤。

・2016 年、ブログ「音楽の大福帳」を書籍化した《クラシックの真実は大作家の「自筆譜」にあり！》～バッハ、ショパンの自筆譜をアナリーゼすれば、曲の構造、演奏法までも分かる～(DU BOOKS 社)を出版。

・2016 年、ベーレンライター出版社 (Bärenreiter-Verlag) が刊行したバッハ「ゴルトベルク変奏曲」Urtext 原典版の「序文」の日本語訳と「訳者による注釈」を担当。

・2016 年、ギターソロと二重奏の作品集「夏日星」を収録した《CD 夏日星》を発表。

・2017 年、ベーレンライター出版社 (Bärenreiter-Verlag) が刊行したバッハ「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻」Urtext 原典版の《「前書き」日本語訳》《「前書き」に対する訳者(中村洋子)注釈》《バッハ自身が書いた「序文」の日本語訳》《バッハ「序文」について訳者(中村洋子)による、詳細な解釈と解説》を担当。

・2017 年、「チェロ四重奏のための 10 のファンタジー(第 2 巻、6～10 番)」を、ドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。

・2016～18 年、「ゴルトベルク変奏曲・アナリーゼ講座」全 10 回、「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻第 1 番～6 番・アナリーゼ講座」全 6 回を、東京で開催。



アナリーゼ講座今後の予定

- 第 3 回 : 2019 年 10 月 19 日 (土) 14:00-18:00
ショパン・プレリュード op. 28-15 雨だれ
ベートーヴェン・ピアノソナタ op. 27-2 月光 1 楽章
- 第 4 回 : 2020 年 1 月 18 日 (土) 14:00-18:00
平均律第 1 巻 8 番プレリュード es-Moll、フーガ dis-Moll

アカデミア・ミュージック HP 内にアナリーゼ講座特設ページができました！
https://www.academia-music.com/user_data/analyzation_lecture